

ジョイエス

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ(エス)を楽しむ。
参加する(エンジョイ & ジョイン)ための情報提供がジョイエスの役割です

生活クラブ 東京

2025
10
October



特集

活動の主役は地域の組合員！ ブロック単協活動紹介

#生活クラブ使ってみたキャンペーン 2025

消費材や企画の感想など、
生活クラブに関する写真とコメントを Instagram に投稿、
プレゼントをゲットしよう！



キャンペーン詳細は
こちら▼

- ① 生活クラブ東京の公式アカウント (@seikatsuclub_tokyo) をフォロー
- ② 2つのハッシュタグ

『#生活クラブ使ってみたキャンペーン 2025』『#みんなでバクバク ACTION』を
キャプションに付け、生活クラブ東京の公式アカウントをメンションして投稿



協同村ひだまりファーム内のキャンプサイトでは1年を通してキャンプを楽しめます。バーベキューサイト「火の木陰」や洗い場「水の木陰」があり、キャンプやバーベキューの道具の貸出（一部有料）もしています。気軽にお越しください（関連記事 P8）

組織の概要

（2025年8月末現在） ●組合員数(デポー含む)93,675人 ●8月度加入445人/脱退545人 ●8月度利用額13億1,164万円/世帯当り18,081円(デポー除く)



消費材の向こう側

第2回

私たちが何気なく手に取っている消費材。生産者のもとでどのように作られているか、気になったことはありませんか？生活クラブでは組合員がさまざまなかたちで生産現場を訪れ、消費材について学ぶ活動を続けています。カタログだけでは分からない消費材の向こう側を紹介します。

国産原材料の現状とこだわり

国産小麦の食料自給率は17%(2023年度概算・重量ベース)とかなり低いが、一般的にうどん用に使われているオーストラリア産小麦「ASW」ではなく、共生食品(株)は国産小麦を使用することにこだわりを持っています。冷凍ゆでうどんに使われているのは生活クラブの提携生産者の北海道産小麦粉と真塩のみ。不必要的な添加物は使わずに、素材の良さを最大限に引き出し、茹でたてを急速凍結することで小麦の風味を閉じ込め、もっちりとした食感に仕上がっています。

廃棄物を有効活用

製造過程でどうしても出てしまううどんの切れ端や、同工場で製造している豆腐の副産物のおからは提携の業者を通して肉牛の飼料として活用しています。さらにおからは近隣の高校と連携し、高校で飼育している牛の飼料に配合することで、生育や肉質の変化を検証しています。共生食品(株)では廃棄物を極力出さないことが、豊かな自然を次世代に引き継ぐことにつながると考えています。

まち・玉川が消費材Step Up点検を実施しました

自然と人の共生をめざす 共生食品(株)

冷凍庫にあると便利な冷凍ゆでうどん。その消費材Step Up点検*を、5月にまち・玉川主催で実施しました。参加する組合員は事前に冷凍うどんの規格書を読み込み疑問点をあげた後、実際に現場でその工程を確認します。共生食品(株)で行った点検を通じて、消費材の向こうにある生産の現状を伺いました。



茹でた麺を冷水に通して冷やすことでスムーズに急速冷凍することができます

製造工程で出た排水の濾過設備も確認しました



*消費材Step Up点検とは

組合員が消費材の事前学習を行ったうえで生産現場を訪れ、消費材がどのようにつくられているかを確認。生産者は、組合員の要望に応じて情報を開示し、消費材の原材料や生産工程、工場内の設備などを公開し、質問に答えます。組合員は確認したことや意見を点検報告書にまとめ、課題があった場合は指摘します。こうした活動を通じて、消費材の更なる品質向上をすすめています。

●組合員より●

消費材Step Up点検に参加して

●生産者より● 共生食品(株)

まち・玉川では初めての企画となる消費材Step Up点検に、共生食品(株)の「冷凍ゆでうどん」を選定し、5月に神奈川県相模原市にある本社工場へ行ってきました。

点検当日はお天気も良く、参加組合員と待ち合わせをして電車で現地に向かいましたが、今回は交流会のような見学ではなく、点検ということで気を引き締めて行きました。

工場の点検の前に生産者の方から事前学習会でまとめた質問について、丁寧に回答をもらい、内容をしっかりと確認してから点検に臨めたのも良かったです。

工場内でも点検事項についてわかりやすく説明して頂き、原材料や保管場所、衛生管理などをスムーズに確認することができ、点検中に浮かんだ疑問や質問にも、その場で明確に答えて頂きました。初めて消費材Step Up点検に参加して最初は緊張していましたが、生産者の方々の温かい対応や、現状に留まることなく更なるステップアップを図る姿勢に改めて感謝するとともに、消費材Step Up点検のしくみや目的をしっかりと理解する貴重な経験になりました。



まち・玉川
森川 明子さん

消費材Step Up点検にて、消費材の製造を直接見ていただく機会をいただき、誠にありがとうございました。

当日だけでなく、事前学習会でも多くのご質問を受けて、一つひとつ回答していくなかで私たち自身も改めて自分たちを見つめ直すことができました。これを機に、みなさまと一緒に消費材をより良いものにしていくことができると感じています。

「冷凍うどん」の原料は国産小麦粉、食塩、水の3つ。余計な添加物は使わずに、小麦本来のチカラだけで納得のコシが出せるように、生地を練り上げています。1本1本包丁切りした麺は、角が立ってつるんとしたのど越し。夏も冬も、年中通して美味しくお召し上がりいただけます。

これからも、組合員と一緒に作り上げた消費材のご利用をよろしくお願いいたします。



営業企画部部長代理
小野寺 和明さん(左)
営業企画部営業企画課課長
八尾谷 彰さん(右)

冷凍ゆでうどんの
注文はこちらから！

デポー組合員の方はデポー店頭へ



パキスタンのスラムで暮らす子どもたちの自立支援

JFSA 衣類・毛布・バッグなどの 回収にご協力ください

NPO 法人 JFSA (日本ファイバーリサイクル連帯協議会) は、古着などを回収し国内外で販売することで、子どもたちが無料で通う学校アル・カイルアカデミー*1 を支援しています。生活クラブでも 2000 年から、のべ 42,217 人(2025 年 5 月末現在) の組合員が回収に参加してきました。

*1 アル・カイルアカデミー:パキスタン最大の都市カラチ市にある、本校・分校・カレッジをあわせて約6,500人が学ぶ無料の学校。1987年にカラチ市のスラムで設立しました



カラチ市内のバザールにある中古バッグの店で働く少年

受付期間：10月1日(水)～12月29日(月) 到着まで

受付品目

【お願い】すべての品物は他のどなたかが再び利用します。汚れ、破れ、虫食い、毛玉などのないもので、洗濯済みのものをお送り下さい。受付品目以外のものはJFSAでは活用できませんので、お間違のないようにご注意ください。

中古・新品

<衣類以外のもの(毛布など)>・ぬいぐるみ(電池駆動のものは不可)・アクセサリ(ネックレス、指輪、ブローチ、ブレスレット、イヤリング)(ピアスとヘアアクセサリ不可)・毛布/綿毛布・タオルケット・シーツ・掛敷ふとんカバー(敷パッドとベッドパッドは不可)・カーテン(レース可)・タオル/ハンカチ類(新品と中古は分けてください)・テーブルクロス(大きいサイズ)・生地/服地(2m以上)(ハギレは不可)・靴(新品同様)・ロングブーツと上履きは不可)・大人用革製ベルト(新品同様)・ネクタイ(学校用不可)・大人用手袋(新品同様)・帽子(麦わら不可)・スカーフ/ストール/マフラー・バッグ類・ポーチ/財布類(カビ、傷み注意！)

<大人用衣類※性別・季節・素材問わず可>・カジュアルシャツ/ブラウス/ワイシャツ/Tシャツ/ボロシャツ/カットソー(半袖、長袖とも可)(キャミソール不可)・トレーナー/パーカー/フリース・ジャケット/アウター類(ジャンパー/ダウン/ベストなど)・ジーンズ/長ズボン/短パン(七分丈、五分丈も可)・ジャージ(上のみ、下のみも可)(学校用不可)・ニット類(セーター/カーディガン/ベスト)・ワンピース・女性用スパッツ・男性用スーツ(上下セットのみ可)(女性用不可)

<子ども服>・女児夏服(120まで、ベビー服可)・男児夏服(サイズ問わず)・冬服(120まで、ベビー服可)・甚平(上下セットのみ)・下着類(布おむつ、おむつカバー、トレーニングパンツも可)

新品のみ(中古不可)

・着物の反物(絹、麻、綿)(ウール、ポリエステルは不可)・女性用下着(ブラジャー、ガードル、ボディスーツ、カップ付きインナーは中古も可)・男性用下着(半袖、ランニング、ブリーフ、トランクスは中古も可)・靴下(ストッキングは不可)・パジャマ・枕カバー・毛糸/レース糸(使いかけは不可)

その他

・換金してJFSAの目的に沿って使います

・未使用切手・書き損じハガキ・未使用カード類・金券類

送 り 先
問 合 せ

〒260-0001 千葉市中央区都町3-14-10
NPO法人JFSA 千葉センター
☎043-234-1206(木曜日定休)

JSFA 活動報告

JFSAは、パキスタンのパートナー P&Jカンパニー*2(以下PJ)と相談し、パキスタンに加えて、中古衣料の大きな市場があるタイへの輸出も2年前から始めています。2022年にはパキスタンの輸入関税の高騰と貿易収支悪化による輸入規制(現在は解除)があり、タイで古着リユース事業を行なっているアリ氏(PJ代表カユム氏(写真)の郷友)の協力を得て、2023年2月に初めてタイへの輸出に取り組みしました。



JFSAの衣類が並ぶパキスタンの倉庫にて。中央がPJ代表カユム氏

タイの中古衣料市場では女性服(夏物)の需要があり、また、ぬいぐるみやアクセサリは人気があります。パキスタンへの輸出ではコンテナ1本分(約24t/60品目ほど)をまとめて古着卸業者のニアズ氏に販売していますが、タイでは品目ごとに業者が買い付けます。それぞれの業者の希望はPJから伝えてもらい、JFSAでは必要に応えられるように品質と品目を選別しています。

JFSAの回収はリユースを目的としており、受付品目はPJと相談して決めます。「衣類の“中古”の程度がわからない」というお問合せには「他の方がそのまま着られる、自分が外出するときに着られるものをお願いします。古いデザインでも状態がよければ大丈夫です」とお伝えしています。ご不明な点はお気軽にお問合せください。

*2 PJ:スラムの子どもたちの自立を支援する事業を行うためにJFSAと協力して現地で作られた法人。アル・カイルアカデミーで働くメンバーもスタッフになっています。JFSAは彼らと協力し、リユース事業に取り組んでいます

送り方

・シーツなどの大きい布で包むか、ビニール袋(二重にしてください。ゴミ袋も可)または紙袋に入れ、破れて中身が出ないようにしっかりとヒモをかけ、郵便・宅配便でお送りください。保管場所、作業効率の問題のため、段ボール箱は使わないでください

・古着の回収は支援事業であり、リサイクル活動です。JFSAまでの送料のご負担をお願いします

・送り状の**お名前**の後に、**団体名**の「生活クラブ東京」と「荷物の重さ」をお書きください

・ご協力いただいた方には、JFSAより活動情報をお送りします

※詳細はお問合せください

<お持ち込みの場合>
直接持ち込みの場合は予約が必要です。
WEBまたはお電話で予約を受け付けています。



送付・持込みの詳細(JFSA)

活動の主役は
地域の組合員!

ブロック単協活動紹介

東京都内は23区南生活クラブ、北東京生活クラブ、多摩きた生活クラブ、多摩南生活クラブの4つの生活クラブ(ブロック単協)に分かれていて、各地でさまざまな活動が行われています。その主役は地域の組合員一人ひとり!地域の取組みは各ブロック単協機関紙、WEBページ、各まちの広報紙やSNSなどで発信していて、どなたでも参加できます。今回は各ブロック単協の活動報告と、実際に参加している組合員の声を紹介します。ぜひ自分の地域の企画を調べて参加してみてください。

多摩きた

今年度も多摩きた全体でビジョンフードに特化した活動を組み立て、まちごとに決めた「テーマ生産者」の利用活動をすすめています。まちで大きな生産者交流会や生産者見学会を開催するのは大変なことも多いけど、みんなで知恵を出し合いながら楽しくチャレンジしています。10月は豚肉、11月は鶏肉生産者交流会と、生産者に会える企画が続きます。まち小平では今年度のテーマ生産者を「(株)平牧工房」として、1年間みんなで学び合いながら、利用をすすめる活動をしています。6月には生産者交流会を開催。たくさんの組合員の参加がありました。当日は参加者全員で羊腸にひき肉を詰めてウインナー作り!茹でているウインナーの色を見て参加者は、「白い…本当の無添加はこれなんだ!」と再確認。ランチでは色々な加工肉の食べ比べをしました。

(多摩きた 理事長 磯嶋志保子)



まち小平
運営委員
なかのひさか
中野久華さん

初めてまち企画に参加したのは生活クラブに加入後しばらく経ってから。活動費も払っているし、せっかくなら行ってみようと思い参加しました。企画は託児があるので子ども連れて参加できて、美味しい試食が食べられて、とてもオトク!以後定期的に参加するようになりました。今はまち委員3年目。運営委員になったことで人の輪が広がったと感じています。運営の仲間だけでなく、他のまちの組合員や生産者…配達を利用するだけでは得られなかった出会いや学びがたくさんあります。興味をもった企画があれば、まず足を運んでみてほしいです。



▲平牧工房交流会。腸詰の実践!



▲企画後は自作ウインナーで楽しくランチ

多摩きた
イベント情報



多摩南

多摩南エリアには(有)とうふ処 三河屋、元気屋、(有)須黒食品の3つのとうふ生産者があります。とうふの取組み30周年記念イベント「大発見!とうふのヒミツ」を生産者とともに開催しました。とうふ作り、料理講座などたくさんの企画で、作り方・おいしさ・こだわりを体感できました。組合員と生産者が同じ土俵に立ち、一緒に考え作り上げていくすばらしさとありがたさ。「地域にとうふ屋を残したい、原料にこだわりたい」という組合員と生産者の強い思いと苦労があったからこそ、今私たちがおいしいとうふを利用できると実感できました。このとうふを次世代にも手渡せるよう、これからも生産者と組合員、そして組合員同士のつながりを広げ活動を進化させていきます!

(多摩南 副理事長 柴田友香莉)



まち調布泊江
運営委員長
おおはた
大幡あゆ美さん

とうふまつりでは、豆腐や揚げたての油揚げを存分に味わい、寄せ豆腐もその場で作らせてもらいました。できたての寄せ豆腐からは濃くて甘い豆の味がしました。また、消泡剤を入れた場合と入れない場合の違いを目の前で見ましたが、生産者の強いこだわりと苦労を知ることができました。私はまち委員をしています。今回同じまちの組合員のみなさんと情報交換することができました。これからも組合員同士がふれあい、生産者との懸け橋になる活動をたくさんしていきたいと考えています。



▲生産者と一緒に企画を楽しむ

多摩南
イベント情報



▲「大発見!とうふのヒミツ」生産者を囲んで



北東京
イベント情報



まち大泉
かとうまきこ
加藤真子さん

固定種の野菜や種を守ることに興味はあるものの、自分にできることは家庭菜園、見かけたら食べるくらいしか思いつきませんでした。そんな時に小さな農園のボランティアの案内が配付されてびっくり!!徒歩圏内で江戸東京野菜を育てることができる!と即申込みました。メンバーはとても気さくな方ばかりで、ゆるく楽しく活動できています。少しずつ、興味のある方から、徐々に利用や仲間が広がっていったらいいなあと思っています。

北東京は現在15まち。さらに新たに配達エリアに加わった墨田区がまち結成にむけて活動中です。都市の農地を守り、北東京としてのローカルSDGsを実現するために、「北東京小さな農園」を始めました。練馬区で農地を維持することが難しくなっていた生産者の土地を借り受け、近隣の組合員有志が力を合わせ、江戸東京野菜を中心に栽培しています。現在デポー石神井に出荷、12月には大泉センターの配送組合員向けに予約受付を始めます。畑で収穫体験や加工用トマトの調理企画などを展開し、将来は農業ワーカーズの結成をめざしています。11月には丸和食品(株)との豆腐提携30周年記念「未来につなぐ豆腐愛まつり」開催予定です!

(北東京 理事長 木村香)



▲枝豆ととうもろこしの収穫体験



▲スタッフから収穫のコツを聞いて挑戦!

北東京

23区南は12のまちによって構成されています。生活クラブの発祥となった地域のように、人と人との繋がりが生きている昔ながらの街もあれば、人の出入りが多くタワーマンションが立ち並ぶ新しい街もあり、まさに多様性をもって日々変化する動きの大きなエリアです。子育て世代向けのイベントに出展したり、地域の祭りに組合員主体で参加するなど、日々拡大の糸口を探して試行錯誤しています。環境への取組みでは世田谷区と連携し、組合員家庭で太陽光パネルと蓄電池を共同購入し、地域の脱炭素を進める取組みを計画中です。また8月には「再エネフェス」を開催し、生活クラブでんきを盛り上げました!

(23区南 理事 原島裕紀)



まち江東
運営委員
みわよしこ
三輪佳子さん

イベントの時は被り物が必須!!
みんな寄って来てくれます
今回は鶏や温州みかんになりきり、私も楽しみながらアプローチブック片手に生活クラブの良さを伝える事ができました。



23区南
イベント情報



▲江東こどもまつりで温州みかんジュースをアピール



▲カタログを見ながらおススメ消費材を紹介

23区南



Q わたしの声 Q & A

Q: あっばれ育ちの野菜の取り扱い品目をもっと増やしてほしいです

A: 栽培期間中の化学合成農薬や化学肥料を「あっばれ育ち」の野菜は使用せずに、「はればれ育ち」はできる限り減らして育て、さらに産地を指定しています。そのため気象などの影響を受けてもほかの産地から不足分を補うことは難しい状況です。長年の研究と経験で、あっばれ育ち野菜を栽培している生産者は少しずつ増えていますが、共同購入に対応できる野菜はすぐには増えないのが現状です。現在、関東甲信越の5つの提携産地では、さまざまな野菜を「あっばれ育ち」「はればれ育ち」で栽培しており、カタログに掲載されていない品目も予約の野菜セットではお届けしています。ぜひ、予約してご利用ください。

予約の野菜セットは2種類！

「予約・あっばれはればれ野菜おまかせ 4 点セット」

「予約・あっばれはればれ野菜 6 点セット」



e くらぶのよやくらぶ登録画面で予約ができます▶

8 月 理事会報告 議事抜粋

- 生活クラブ東京 PPA 事業の資金調達スキームの変更について
- 再エネソーラー事業に伴う生活クラブ東京 SPC 立ち上げについて
- 「2025 年度総括および 2026 年度方針策定資料」の体裁とスケジュールについて
- 世田谷区での UR 自立支援スキームの登録について
- やさか運輸株式会社との新規提携について
- 「生活クラブ生協決裁権限内規」の改定



東京理事の リレーコラム

課題解決のための一歩を踏み出そう



7/27 (土) の北東京を皮切りに、8/2 (土) には多摩きたと 23 区南、8/3 (日) には多摩南で、再生可能エネルギーと省エネをテーマにした環境フェアが各ブロック単協で開催されました。

夏休みということもあり、大人だけでなく子どもたちの参加も多く、どの会場にもぎわっていました。それぞれワークショップなどの体験をしながらエネルギーについて学ぶ企画が工夫されており、親子で学ぶきっかけになったという参加者の方も多かったのではないのでしょうか。

私もすべての会場を訪れましたが、その中でも特に印象に残っているのはクイズコーナーでの出来事です。クイズコーナーでエネルギー自給率を問う問題があり、多くの方が正解を知ってその低さにとても驚かれていました。その中で中学生くらいのお子さんがその問題を前にして、一緒にいるお母さんに日本のエネルギー自給率が低いことと、それを上げるためには再生可能エネルギーを推進することが不可欠であることを解説していたのです。大人以上に、しっかりと現状の課題とそれを解決するために必要なことまでを理解している様子にとっても感心し、頼もしく感じました。

日本のエネルギー自給率は 12.6% (2022 年度) で、食料自給率よりもさらに低い数字です。これを向上させるためには、前述の中学生のように課題を認識して解決策を理解することが重要です。その上で、解決に向けた行動を起こすのは私たち大人の責任だと思えます。自宅の電気を再生可能エネルギー中心の電気に切り替え、解決に向けた一歩を踏み出す人を増やしていきたいですね。

(生活クラブ東京 副理事長 守本香)

切り取って下の部分を提出してください



わたしの声カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙または WEB で提出できます。みなさんの声をお待ちしています。



ご希望のイベント名をご記入ください

氏名 電話番号

提出日

センター 組合員
デポー コード

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

- ①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
- 質問には 2 週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週末までです。※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアーワークスまでご提出ください。

事務局記入欄	
センター/デポー	東京本部
/	印

展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て

細部までお好みにあわせ、高級生地もお手頃価格でお選びいただけます。中間マージンがかからない生地仕入れルートによるコストパフォーマンスの良さ、オプションの豊富さで他との違いを実感してください。約 4 週間でお届けします。

●デポー八王子みなみ 展示会

10 月 4 日 (土) 5 日 (日) 10:30 ～ 17:30
会場：デポー八王子みなみ (八王子市別所 1-69-5)
TEL：042-670-3099

●デポーせたがや 展示会

10 月 17 日 (金) 18 日 (土) 10:30 ～ 17:30
会場：生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13)
TEL：03-5426-5211 (デポーせたがや)
同時出展：かたやま工芸 (宝飾品)、エジソンのたまご (おもちゃ)

●デポー東村山 展示会

10 月 25 日 (土) 26 日 (日) 10:30 ～ 17:30
会場：デポー東村山 (東村山市久米川町 3-32-44)
TEL：042-399-7151

●赤堤館お仕立て会 要予約

11 月 1 日 (土) ～ 3 日 (月) 10:00 ～ 16:00
会場：生活クラブ赤堤館 (世田谷区赤堤 4-1-6)
《事前予約制》来店希望日時をご連絡ください。
予約電話番号:03-5300-4688 (定休日:火・水・日)

展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00 ～ 16:00)
定休日：火・水・日

●きく屋宝石店 秋の逸品会

10 月 24 日 (金) 11:30 ～ 20:00
25 日 (土) 10:30 ～ 19:00
26 日 (日) 10:30 ～ 18:00

会場：東京交通会館 12 階カトレアサロン (千代田区有楽町 2-10-1)
フォーエバーマーク ダイヤモンドの認定ジュエラーのきく屋宝石店が新作ジュエリー展示会を開催します。スペシャルなジュエリーからブチご褒美ジュエリーまで多数取り揃えています。お気軽にご来店ください。

●パラマウント靴の内覧会 要予約

11 月 7 日 (金) 8 日 (土)
9:00 ～ 18:00
会場：ポディア飯田橋店 (新宿区新小川町 9-6)
男女靴、ウォーキングシューズ、子ども靴ほか、インソール調整、修理も受け付けます。詳細は 10/13 ～配布のチラシをご覧ください。

●天地堂 ランドセル

2026 年モデル発売! ランドセルお買い上げの方にもれなく「防水用ランドセルカバー」をプレゼント! カatalog ご希望の方は、お電話またはページ右上の二次元コードよりご請求ください。

事業部

TEL 03-5426-5206

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です
入材料：510 円 (4 歳～小学生 310 円)
駐車場料：600 円 / 1 日

【NPO 法人地球野外塾との共催企画】

●お月見ナイトハイク

10 月 5 日 (日) 14:30 ～ 20:30
受講料：5,000 円 / 1 人
お月見弁当を作って金毘羅山に登ります。

●ローテク火おこしデイキャンプ

10 月 19 日 (日) 10:00 ～ 16:00
受講料：5,000 円 / 1 人
マッチ、ライター、ファイヤースターター、きりもみなど、いくつもの火おこしを体験します。

●イチから作るドラム缶風呂

11 月 9 日 (日) 9:30 ～ 16:00
受講料：5,000 円 / 1 人
秋川のきれいな水と河岸の地形を活かして、手づくりの露天風呂を楽しみます。

【ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画】

●石窯ピザ焼き体験

10 月 11 日 (土) 12 日 (日) 26 日 (日)
11 月 1 日 (土) 2 日 (日) 11:00 ～ 13:00
参加費：1,700 円 / 1 人
ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉 863
TEL 042-596-0103
休村日：火・水 (祝日をのぞく)
企画申込みはページ右上の二次元コードからの WEB 予約にご協力ください

生活クラブの学校

受講料は組合員価格 (記載のない場合無料) オンラインの記載がない場合は会場のみ
会場記載がない場合は生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13) 開催

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン (CS まちデザイン) との共催企画】

食農共育講座

●大人のための食育講座

たべものラボ～セミナー&クッキング
10 月 17 日 (金) 10:30 ～ 13:00
セミナー講師：近藤恵津子さん (CS まちデザイン理事長)
料理講師：山田郁子さん (CS 料理講師)
受講料：4,900 円
ついに乾物の時代がやってくる! ? 乾物の市場動向や購入時に気をつけたいことなどを学

んだ後、おいしい料理を実習して食べていただくお得な講座です。

メニュー：車麩でルーローハン、台湾風卵焼き

●旬の野菜ランチを楽しみながら、都市農業における異常気象への対応を知る

10 月 23 日 (木) 11:30 ～ 14:00
講師：青木幸子さん (青木農園農家料理 主宰)
受講料：4,500 円 (ランチ代込み)
今年の残暑はいつまで続くのでしょうか。おなじみ青木農園さんにお邪魔し、ますます厳しくなる気候にどう対応されているのか伺います。栗を楽しむランチ&デザートもお楽しみに。

●親子で Let's cook !

10 月 26 日 (日) 10:00 ～ 12:00
講師：松田希美子さん (CS 料理講師)
受講料：6,000 円 / 親子 1 組
食への関心は「体験」から。ご家庭での楽しい食につながる講座です。親子で協力して楽しく料理し、おいしく食べましょう。親 (パパでもママでも、祖父母でも) と子ども (年中～小学生) の 2 人 1 組での参加です。
メニュー：ハンバーガー、りんごケーキ

NPO 法人 CS まちデザイン TEL 03-5426-5212

【ACT (アクト) 運動グループとの共催企画】

ACT の地域育て・自分育て講座 (全 14 回)

ケアとコミュニティのための総合講座。ACT のケア者やコミュニティに携わる方はもちろん、どなたでも幅広くご受講いただけます。
受講料：3,000 円 / 回
※ ACT 会員無料 (年会費 3,000 円)

●第 9 回 ケアを長く続けるために (オンライン講座)

10 月 31 日 (金) 14:00 ～ 16:30
講師：末安民生さん (佛教大学保健医療技術学部教授)
香丸眞理子さん (労働者協同組合 ACT・人とまづくり理事長)

ケアを長く続けるために必要なことを事例をもとに学び、考えます。「受講後、気持ちが楽になった」などの声が寄せられます。困難な事例にどう対応する? ケア者のメンタルを保つには? どう連携すれば良い? 家族介護等にも活かしていただきたい内容です。

●第 10 回 まちの機能 ほっとスペース構想 (オンライン講座)

11 月 12 日 (水) 10:30 ～ 12:30
講師：まちの縁がわ東京メンバー
「まちの縁がわ」とは、2011 年から東京都内 12 カ所で活動しているだれでも利用できる地域の居場所。カフェや相談、ちょっとした暮らしの困りごとのサポートをしています。講座では、まちの縁がわの活動の様子を交えながらお話をし、参加者同士意見を交わします。

NPO 法人 アビリティクラブ たすけあい (ACT) TEL 03-5302-0393

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。

①ご本人の同意がある時 ②ご本人を特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合

ようこそ!

秋のベストシーズン到来!

協同村ひだまりファーム

秋川の清流に面した自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの農空間、協同村ひだまりファーム。日帰りやキャンプ利用のほか、定番の石窯ピザ焼き体験、農業体験や釣りなど、季節によってさまざまなイベントを体験できます。四季折々の自然とふれあい、人と語らう…「協同村ひだまりファーム」で秋のひとときを過ごしませんか。



石窯ピザ焼き体験

7/13
のようす

協同村に来るのは2回目。今回は友人ファミリーと一緒に参加しました。石窯ピザ焼き体験は子ども達も参加できるし、よく食べてくれました。協同村は最高の環境。リピート確定です!



まち府中 河合萌歩さん(右)とご友人、ご家族のみなさん



ワーカーズ「草の実」の窯じいこと田上さん(左)

窯の内部温度は400度にもなるとか、あっという間にピザが焼けます

8年前に初めてこの石窯ピザを食べて、その美味しさに驚きました。それ以来、毎年参加しています。8年前は赤ちゃんだった娘もこんなに大きくなりました。石窯ピザは世界一です!



(左より) まち豊島 山野章子さん、祐愛さん、大喜さん

秋冬のイベント紹介

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

- 10/11,12,26 11/1,2 石窯ピザ焼き体験
- 12/6 稲わらでミニしめ縄を作ろう!
- 12/7 なんにもしないで焚き火とコーヒーを楽しむ会
- 12/14 干し柿を作ろう!

NPO 法人地球野塾との共催企画

- 10/5 お月見ナイトハイク
- 10/19 ローテク火おこしデイキャンプ
- 11/9 イチから作るドラム缶風呂

その他

- 石積みワークショップ
- cotton ball を収穫してリースを作ろう!
- 木の実クラフト作り
- 松ぼっくりリース作り
- バードコール作り
- 薪割り体験 …など、詳しくはお問い合わせください



キツネノカミソリ



スタッフ一同
お待ちしております!!

協同村ひだまりファーム

- 入村料510円(4歳~小学生310円)
※繁忙期(4/15~5/15, 7/1~8/31)は+200円
- 駐車料600円/1日(予約優先)
- 休村日:火・水曜日(祝日を除く)



あきる野市戸倉863
ご予約は、お電話またはWEBで
TEL:042-596-0103



福元さん

大谷さん

組合員以外も利用できます。
バーベキュー食材の販売はありません。

※イベント申込みは、WEB 予約にご協力ください(要予約・別料金)